

第3章 総評

▶第1章 問3にて、児童生徒が給食で大事だと思うことで回答が多かった、『味がおいしいこと』、『栄養バランスがとれていること』に対して、問2にて多くの児童生徒が給食のよいところで『味がおいしいこと』、『栄養バランスがとれていること』と回答していることから、児童生徒が大事だと思うことについてよい評価をいただけたことが伺えた。

▶第1章 問3にて、小学5年生、中学2年生ともに『献立の種類の豊富さ』も大事であると回答しているが、それ以上に『安全な食材を使用すること』が大事であると考えていることから、引き続き安全な食材を使用し、安全安心な給食の提供が必要であることがわかった。

▶第1章 問6にて、学校給食で使用する豊橋産の食材の認知度について、小学5年生・中学2年生ともに青じそ、キャベツ及びうずらの卵は認知度が高かったが、なす、こまつな、ブロッコリー、葉ねぎの認知度は低い結果となった。特にこまつなは近年豊橋産の使用率が増え、令和6年度より「とよはし産学校給食の日」の品目に追加となったため、現段階では認知度が低いと考えられる。こまつなをはじめとした認知度が低い品目については、今後より広く周知をしていく必要があると考えた。

▶第2章 問2にて、保護者に対する豊橋市の学校給食に関する取組の認知度について、「着色料・保存料を使用していない」、「豆加工品は遺伝子組み換え品を使用していない」「ハム・ウインナー等肉加工品は無添加かつ発色剤等を使用していない」の安全安心な食品の使用に関する項目の回答が低い結果となった。また、問3にて保護者が学校給食で満足している点では、「安全性」の項目は約3割の回答率となったのに対し、問4にて保護者が学校給食に求めることでは、「安全安心な食材が使用されること」について約6割の回答率となった。このことから食品の安全性については、保護者が学校給食で強く求めている項目であるものの、豊橋市の現在の取り組みについて認知度が低く、満足している点の回答率が低い結果に繋がっていると考えられた。そのため、今後も引き続き安全な食材を使用するとともに、豊橋市での安全性に対する取組の周知についてより力を入れていく必要があると考えた。

▶第2章 問2にて、保護者に対する豊橋市の学校給食に関する取組の認知度において7割以上の回答率となった「学校給食実施基準に基づき、栄養バランスを考え献立を作成している」の項目について、問3の保護者が学校給食で満足している点及び問4の学校給食に求めることでも「栄養バランスのよさ」は高い回答率であった。また併せて第1章 問2にて児童生徒が学校給食で満足している点及び問3の学校給食で大事だと思うことについても「栄養バランスのよさ」は約6割と高い回答率となっており、児童生徒においても関心が高いことが伺える。このことにより、「栄養バランスのよさ」は保護者及び児童生徒が学校給食で強く求めている項目であるとともに、現在の豊橋市の取組としても認知度が高く、また満足度も高いことがわかった。今後も学校給食実施基準に基づき、栄養教諭等各関係機関と連携し、栄養バランスを考えた献立を引き続き提供していく必要があると考えた。

▶第2章 問5 学校給食費の負担軽減事業において負担軽減された分の使い道について様々な活用先の回答をいただいた一方で、「事業について知らなかった」という意見も複数上がったため、市として行う事業について保護者の方への周知をより行っていく必要があると考えた。

その他の意見として、「事業について知っているが、活用はしていない」の回答が複数上がった。また、負担軽減を行うことによる給食の質の低下を心配する声も上がった。このことにより、保護者負担を軽減するとともに、給食の質は落とさず提供を続けていく必要があると考えた。